

ホームページからのご意見への回答

「ショートステイを利用拒否されました。うちの娘が器用なためカニューレを抜いてしまうため、安全に管理できないとのことでした。おっしゃる事はわかりますが、重度障害児の医療的ケアが必要な子を預かる施設は数少なく、同じような医療ケアが必要な子は利用できてるのに、器用であるため拒否されると差別を感じ成長したことが全く喜べなくなりました。安全に管理できないからの一言で片付けてほしくありませんでした。とても嫌な気持ちになり、これから冠婚葬祭があった際どうしたらよいのかと、不安になります。」

とのご意見に回答いたします。

この度は、入院をお受けすることが叶わず、当院としましても、誠に心苦しく思っております。

本件について、多職種から構成される病院関係者で慎重に協議を行いました。その結果、お子さんの生命と安全を最優先に考える体制に変わりはなく、それが確保できない現在

の状況では、お受けすることは難しいという判断に至りました。

しかしながら、お子さんの状況に変化があれば、お受けすることは可能です。

今後も、ヘルパー事業所などの社会的な資源とも連携を密にしながら、支援ができる方法を一緒に検討したいと考えております。

ご家族様におかれましては、ご理解とご協力をお願いいたします。

病 院 長

ホームページからのご意見への回答

「最近、歯科での診察がとても雑になりました。前までは細かい説明があったのですが、何をしたのかよくわからず診察が終わり、また1~2ヶ月以内の予約をとられます。あと前は先生だけだったのですが、最近は歯科衛生士？フェローの方が先に見てからやるのが意味あるのかなと益々疑問です。さらにその歯科衛生士っぽい人が子どもの歯茎を大量出血するくらい磨き、もちろん子どもは大号泣。家に帰ってからも出血があり、歯磨きに支障をきたしました。大人の歯科ならともかく、ちょっと見る子どもの歯科なら2人も見なくて良いと思うのと、出血するくらい磨かないでほしいです。」
とのご意見に回答いたします。

歯科診療の際に不快な思いをさせまして申し訳ありません。

歯科外来では、専門的知識および技術を持つ歯科衛生士がまずブラッシングや機械的な歯面清掃およびフッ素塗布を行い、その後歯科医師がう蝕や磨き残しがないか、その他

口の中に異常がないかをチェックする体制をとっています。

そういったダブルチェックをすることで、口の中の問題点の見落としを少なくするようにしています。

また、1日に沢山の患者さんが来院されるため、歯科医師が全員の歯磨きをすることは現実的に困難であり、口腔衛生管理の部分をスペシャリストの衛生士に任せています。

ご指摘のブラッシング時の大量出血ですが、健康な歯肉の場合どんなに力強く磨いてもほとんど出血することはありません。ただし、日常の口の中の衛生状態が悪く歯肉炎が強い方は歯茎に触れるだけでも出血いたします。出血そのものは悪いものではなく、出血を我慢して2週間程度しっかりとブラッシングしていただければ、歯茎の状態が改善し簡単に出血しなくなると考えます。特に全身疾患があるお子さんは、虫歯だけでなくこの歯肉炎やさらに進行した歯周炎になると感染により、全身に重大な問題を起こすこともあります。我々は、そういった口腔内の状態や全身の状態を考慮して来院間隔を決めております。問題がなければ3～6ヶ月、口の中の状態に不安がある場合には1～2ヶ月の短い間隔で来ていただく場合もあります。

ただ、様々なご家庭の事情もあると思うの

で、通院間隔に関しては遠慮なく主治医にご相談ください。

また、診療内容についても、遠慮なく主治医にお尋ねください。

病 院 長